〝木の文化〟普及に情熱

大和木材株式会社

磯路3丁目18－26 ☎6571・0278

港のまじめ企業〈上〉

「とにかく利益を上げて勝ち残れ！」と非情・不毛の競争がエスカレートする現代社会。その中で「まずは世のため地域のため。利益はその結果」と企業活動本来の姿勢を崩さない誠実企業を紹介するシリーズ。

今回は、住宅用木材の販売・加工を主業務とする大和木材株式会社。「心を込めて材木の提供を」「木の文化の普及で地域貢献を」とひたすら良心的な商法を守り続けてきたその足跡を辿り、今後の展望を探ります。

販売加工60年、「一緒に感動」心込めて材木届ける

―ということでやって来ました大和木材㈱。風格を感じさせるレトロな社屋と倉庫が目を引きます。経営の中心を担う大和宏充・代表取締役社長(三七)に話を訊きました。

◆まずは大和木材の歴史を教えて下さい

大和家は徳島県で代々山持ちでしたが、戦前、曾祖父・慶次郎が大阪へ出て製材・販売業を営みました。戦後、昭和二十四年には祖父・三郎が港区吾妻町に個人で木材業を開き、地元の工務店を得意先に、典型的な仲買商としてスタートしました。これが現「大和木材」の直接のルーツです。

昭和二十七年には有限会社に改組し、同三十八年には港区の区画整理事業で現在地に移転したのを機に株式会社に改組しました。同六十一年には父・秀樹が、平成十七年には私が代表取締役社長に就きました。

因みに、名古屋以西で唯一、内外の優良丸太を扱う「関西木材市場」(住之江区)での買方番号は、今でも「五」と非常に若いのが自慢です。

◆木材業者としての歴史を物語る数字ですね。ところでこの応接室は木の香りが実に爽やかですが

地域への感謝の一環として平成二十年に造ったものですが、内装材は杉の無垢材、塗料も自然塗料です。港区はマンションが多く、木に触れる機会も少ないので、五感で木の良さを感じて頂ける場として、希望があればいつでも開放しています。

地域に対しては他にも、住まいの無料診断や端材プレゼント、木工教室などを内容とする「感謝祭」を年二回開いたり、地元工務店さん二社と「木楽家工房」というグループをつくって「材木や住まいに関するどんな話が地域から来てもOK！」という態勢を作ったりしています。

この十二月には私の母校である磯路小の図書室に使う杉材を提供させて頂き、それを使って地元の工務店さんが工事をしました。

◆そういう地域重視の姿勢はどこから？

私は昭和四十八年にこの地で生まれましたが、子供の頃、慌しい作業の中で積み上げられた材木を見て、「近所に迷惑をかけているのではないやろか」「もっと気持ち良く仕事できないものやろか」と気になっていたのを覚えています。

東京の大学を卒業後、パナソニック電工での五年間の営業活動を経て二十七歳で家業に戻り、平成十七年に父から「外で営業の大切さを学んできたお前に」と言われて社長業に就いた訳ですが、そんな幼少期からの思いもあり、真っ先に手を付けたのが「経営理念」でした。経営コンサルタントの助言も得て作り上げたその経営理念を凝縮すれば、「お客様への感謝」「お客様と一緒に感動」、そして先ほど言った「木の文化の普及を通じて地域貢献を」ということになります。

◆その経営理念を業務内容にどう具体化してこられましたか？

創業以来の木材の販売・加工をあくまで本業としながらも、取引先などのネットワークを生かして、①建築資材の販売②住宅機器や家具の販売・設置工事③住宅ローンの取次④住宅の建築―などへと窓口を広げてきました。つまり木材販売・加工を軸に、「住宅周りのことなら何でもお任せ！」という姿勢を積極的に打ち出して来たのです。

その中で最近では「材木を提供するだけでなく自ら作ってみよう」と〝メイド・イン・ヤマト〟(笑)にも挑戦しています。この十月には花屋さんの店頭用に杉材の木箱を提案したところ、「センスがええ」と目標の三倍以上の千個も売れました。

◆ところで従業員の皆さんの笑顔が実に爽やかですが、どんな社員教育を？

現在、社員は二十代の若手から木材を知り尽くした六十代のベテランまで、正社員とパート合わせて八名いますが、その一人ひとりの力と個性を一つにするために強調しているのは、①挨拶②整理整頓③時間厳守―の三点です。こういう人間としての基本ができないと仕事での向上もないと思うからです。その上で、各自目標を持つことを求めていますが、どんなプロセスでそこへ到達するかは一人ひとりに任せています。

因みに、そんな指導をしている以上(笑)、私自身がまず七時出社し、トイレと近隣と社内の清掃を実践してきましたが、昨春からは社員も参加してくれるようになりました。(つづく)

材木を選ぶベテランの金子隆さん(右)＝市岡4丁目の㈱大阪木材相互市場で

毎年2回開く「感謝祭」での木工教室風景

「一緒に感動を」と良心的なサービスを心がける大和木材㈱のスタッフ(後列左から3人目が大和宏充社長)＝玄関前で

地域短信

慰問つづける絆会

磯路で「メリークリスマス」

港区の奉仕グループ「絆会」(森上行茂会長)が十二月十七日、港医療生協ディケアセンター(磯路)を訪れ利用者十数人に歌や踊りのプレゼントをしました。同会は港区在住の八十～五十代男女十数人で〇七年発足。老人施設などへの慰問を続け、今回で十九回目。

この日、森上会長はサンタの扮装、女性会員は揃いの赤帽子と青の法被姿で一足早いクリスマスムードを演出。女性会員の司会で「聖夜」の全員コーラスから「東京ラプソディ」「孫」「母鏡」と馴染みの曲を披露。中盤、女性会員がモンペ姿で「岸壁の母」を歌い出すとフロアはしーんと静まり返りました。最後はキラキラの花を手に歌い踊る「女の花は散らさない」で華やかにフィナーレ。途中、一緒に口ずさんだり、飛び入りで「無法松の一生」を歌ったりする利用者の生き生きした姿が印象的でした。

一時間の舞台を終えた会員らは「利用者の方々の純粋で心からの笑顔と拍手に、私たちの方が感動と元気を貰いました。介護は誰もが通らねばならない道。これからも体の続く限り、慰問を積み重ねていきたい」と話していました。

ひと足早いXマスプレゼントを贈った絆会メンバー

■理容組合が区役所に車イス寄贈

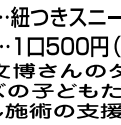
大阪府理容生活衛生同業組合(松井義三理事長)港支部が港区役所に車椅子五台を寄贈し、十一月二十二日、田端区長から感謝状が贈られた。同組合では組合員や府民にプルトップ回収を呼びかけ、それによって得られた資金を活用して平成十四年から毎年、府下の官公庁や諸団体に車椅子を寄贈。総台数は今回で三百七十に達した。片岡啓二支部長(六二)は「旅行に出かけた時などに手間を厭わず持って帰ってくれた組合員。呼びかけポスターを見て驚くほどたくさんのプルトップを集めてくれた組合員や地域の皆さん。そうした熱意の積み重ねが実を結びました。日頃の地域社会からのご恩をこういう形で還元でき、嬉しく思っています」と語っていた。

田端区長(右端)から感謝状を贈られる大阪府理容生活衛生同業組合の片岡・港支部長(左端)ら

非常灯・誘導灯を
業界初 LED式蛍光灯に換えてみませんか!
5大特長
●交換時の取り替え工事が不要
●消費電力は一般蛍光灯の約半分
●鉛・水銀を使わず地球に優しい
●4万時間の長寿命で省メンテ
●紫外線少なく虫が寄りつきにくい
中小企業で世界初の全社屋LED化<見学歓迎>
前田機械㈱ LED事業部(LED照明・企画販売)
市岡元町2-3-28 ☎6582-5010
http://www.maedamachine.com

勉強会・打ち上げ・会食・お泊まり－等々
あらゆる集まりは地元の経営開発研修センターで
会議室5(72名、45名、16名、24名、10名) 個室50(各室バス・WC・TV付)一泊朝食付5,000円
新年会・歓送迎会 ご予約承り中!
昼食レストランも大好評!

三先1丁目6-3(港南中学校向かい) ☎6574-5701
http://www.keieikaihatu.co.jp mail:kenshu@keieikaihatu.co.jp

日本気導術学会チャリティー教室
タイのエイズの子供たちを支援しながらあなたも健康で美しく
ウォーキング教室(スリムをつくる歩き方)
1月は「肩こり解消と風邪予防に役立つ立ち方・歩き方」をテーマに行います。
●日時…1月21日㈮10:00～11:30
●場所…港区民センター(弁天2-1-5)2階「楓」
●持ち物…紐つきスニーカー
●支援金…1口500円(お志)
★山下文博さんのタイ・エイズの子どもたちへの癒し施術の支援です

お問合せ 快生堂整骨院内堀川(日本気導術学会担当理事)
磯路2-12-1公団磯路109 ☎080-1404-4339